

事業名

素直な心をもった都祁の子を育てよう！

目標

目標に向けてなかまと協力して頑張る、相手を思いやる、がまんする、関心をもつ、感動する、感謝する子どもを育てていく。

1. 取組の視点

都祁中学校区の人々の学校に対する期待や関心は極めて高く地域と学校が共に歩んできました。しかし、都祁中学校区においても少子化や情報化などの社会の変化から受ける影響もあります。また、4小学校からほとんどの児童が都祁中学校へ進学するため9年間を通してどんな子どもに育てていこうとするのか、さらに子どもの現状はどうかなど「都祁地区保・小・中教育交流会」を持ち共通認識を図っています。その中で行動の低年齢化、低学力傾向、運動能力の低下、基本的な生活習慣の乱れなどが浮き彫りになってきています。そこで、目標に向けて頑張る、相手を思いやる、がまんする、関心をもつ、感動する、感謝する子どもを育てていきたいです。

2. 取組の概要

都祁中学校区の児童・生徒が素直な心をもった都祁中学校区の児童・生徒の育成を目指していくための取組として、①読書活動を推進するための図書を購入し、読書活動・学校図書館の充実を図る為、小学校では、地域の方に来校をお願いして読み聞かせ学習を実施。



②地域の学校にふさわしい環境美化活動の推進。

都祁地域の小・中学校の保護者やコーディネーター・ボランティアの方々をお願いをして、生徒・保護者・コーディネーター・ボランティアの方々に学校内外の草刈り作業を実施。



③体力向上に向けての取組を実施。夏休みに講師招聘をして4小学校で地域の方々も参加してい

ただいて水泳教室に取り組みました。



また、奈良県小学生陸上記録会に参加、中学校の部活動では、奈良市・奈良県の大会や近畿大会への参加、文化部

では吹奏楽部（県のコンクール）・美術部（展示発表会等）が活躍しました。会場までが大変遠距離で、交通手段が少ない地域に居住す



る生徒の借り上げバス代として充当しました。④見守り活動の推進。地域のコーディネーター・ボ



ランティアの方々に協力をお願いして児童・生徒の登下校時における見守り活動を実施。

また、都祁地域全体の保・小・中下校時の見守り活動も2回実施しました。⑤地域との交流を実施。地域の方々を学校に招待して、いろいろな機会における地域交流を実施しました。



3. 成果と課題

今年度のテーマ「素直な心をもった都祁の子を育てよう！」で取り組んだ内容は、図書の充実、環境美化、体力向上、見守り活動、地域と交流という5つです。成果としては、地域の方々の協力と参画を得ながら学校運営に協力してもらうことができました。今後の課題としては、小・中を通じた児童・生徒の現状をさらに把握すること。更なる体力の向上に向けた取り組み、見守り活動、地域と交流を深めていくことが今後の課題です。

事業名

ガンバレ！都祁中 Family！

目標

地域の方々との交流を図りながら、諸活動を通して豊かな心とたくましい体力の向上を図り、生きていく力を培い、感謝する気持ちを大切にできる生徒を育成する。

1. 取組の視点

都祁中学校は、地域の方々には中学校の諸行事や取組に協力や理解を得ることができます。その成果もあり、生徒の諸活動の取組において数々の成果を残しています。生徒数も減少傾向ですが、「奈良県一の学校を目指して」を中学校の合い言葉として諸活動に頑張っています。

重点的な活動としては①地域まで広がる挨拶運動②環境美化活動の徹底、「都祁地域から学ぶ」をキーワードにした地域交流会に取り組んでいます。また、諸活動を通じて豊かな心と体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培うことを大切にしています。

2. 取組の概要

「ガンバレ！都祁中 Family！」を事業テーマに掲げ、保護者や地域の方々との交流を図りながら、地域を愛する心を育てるとともに、諸活動を通じて豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培い感謝する気持ちを大切にできる生徒の育成を目指しました。まず、7月（暑中見舞いの絵はがき）



と12月（版画カレンダー）の2回、自分たちで制作した作品をもって全校生徒が、2～3人のグループで高齢者宅訪問を実施しました。都祁の文化の遊び、歴史などを高齢者の方々から学ぶこと

ができました。

総合学習では、地域のグラウンドゴルフクラブの方々に来ていただき、ゲームを通して交流を深めることができました。11月に実施をした地域



交流会では、社会福祉センターの高齢者の方々や保育園児を招待しました。今まで総合学習で取

り組んできたことを発表したり、ゲームや遊びを通して交流を深めることができました。また、モノづくり班では、普段からお世話になっている都祁地区の方々へ感謝の気持ちを込めて21箇所の事業所へ花台を手紙といっしょに寄贈しました。また、都祁高原マラソン大会には美術部や吹奏楽部が参加をして協力しました。



都祁地域の部活動を行う環境を整備し、全員部活動に参

加し、自己記録の向上に挑戦し、体力の向上を図り、たくましい心と体を育成するという目標に近づくことができました。

3. 成果と課題

高齢者宅訪問は、世代間交流で地域の方々から都祁の文化や歴史を学ぶことが多くありました。また、総合学習の取組を通して地域の方々や保育園児との交流を深めることで多くの人たちとコミュニケーションを取ることができました。生徒たちは、この取組を通して人を愛する心や地域を愛する心を学びました。今後もこの取組を継続して、地域の方々にも協力をお願いし、取り組んでいきたいです。



事業名

ふれあい、輝く並松っ子

目 標

地域とのふれあいを通して、並松小学校の子どもたちの健やかな成長をめざし、知・徳・体のさらなる向上に取り組む

1. 取組の視点

昨年度、コーディネーターを核として、地域のボランティアの協力を得て運営ができました。そこで、本年度もコーディネーターと意見交換を重ね、計画や実施における細かな調整を実施して、継続した内容で取り組むこととなりました。学校に協力いただける地域の方々とともに、並松の地で子どもたちが学び育つ機会を支える活動として本事業に取り組みました。

2. 取組の概要

○地域との交流（学習支援活動を中心として）

金環日食の日は、観察会を実施したので、7時15分登校でした。すでに日食の始まっている時間帯であり、登校時刻も



普段より30分ほど早いので、地域の方や保護者が見守り活動をして下さいました。一緒に登校した後、子どもたちとともに金環日食の観察をし、天体ショーをみんなで楽しみました。校区の方が金環日食の観察の指導に来て下さり、遮光板を使って見るだけでなく、いろいろな方法で観察をすることができました。地域の方や保護者の力を借り、子どもたちは、貴重な体験をすることができました。

地域の伝統食として、今も地域の神社にお供え



されている笹と萱で包んだちまきを、本年度も地域のボランティアの方に6年生と保護者を対象に指導していただきました。ちまきは、子どもが元気に育ったお祝いやこれからも元気に育ちますようにとの願いが込められ、つきたての餅だんごを地域に自生する笹と、雌萱で包み、藺草で巻いて作られます。自然豊かな地域に住んでいながら萱や藺草を知らなかった子ども

もも多く、伝統的な食文化にふれ、先人の知恵やちまきに込められた願いを知ることができました。

もも多く、伝統的な食文化にふれ、先人の知恵やちまきに込められた願いを知ることができました。

その他にも、国語科・社会科・生活科・図工科などで地域の方々から学んだ事は数多くあります。

○環境整備活動



職員や子どもたちによる作業だけでは、賄いきれない夏期の除草作業に保護者・地域の方々や運営委員会の方々の協力を得て

います。積極的に作業をしていただいたおかげで、子どもたちの学習環境が見違えるようになりました。

○見守り活動

「並松地区見守り会」として、月2回の定例登校指導や普段の自主的な見守り活動を実施していただいています。そのおかげで、児童は安心して登下校をしています。



3. 成果と課題

学校自己評価のために実施した児童・保護者のアンケートにおいても「地域の方々に教えていただいた勉強は楽しかった。」とのよい評価が得られています。本校では地域で子どもたちを「叱って下さい。」「仕込んで下さい。」「育てて下さい。」とお願いしています。今後も、地域の多くの方々の力を借りながら、子どもたちが人と人との関わりを大切に、たくましく生き抜いていく力を培ってまいります。

今後の課題としては、情報発信・情報交換、子どもたちに継続的にかかわっていただける人材の確保、学校や地域の担当者が代わっても引き続き支援が得られるような組織の更なる強化が考えられます。

事業名

瞳きらきら 心うるおう都祁の子の育成

目 標

地域と連携し、さまざまな体験や人と人とのつながりを通して、主体的に考え・表現できる児童を育成する。

1. 取組の視点

本校の全校児童数は122名と小規模校ですが、つげの子班（異年齢集団活動班）を生かした全校ぐるみの取組を多く実施し、子どもたちのつながりを深めています。また、保護者や地域の人の教育への関心も高く、様々な活動にも協力的です。

本校では、「つげのこ」をキーワードに

「つ」・・・つきゅうする子、
「げ」・・・はげましあう子、
「の」・・・のびのびそだつ子、
「こ」・・・こころやさしい子

の育成をめざして取り組んでいます。何事にも興味・関心を示す子どもたちですが、自分の考えや意見を発表するとなると、自信がもてずに躊躇してしまうことがあります。本年度の研究主題を柱に、お話の会や地域のひととのふれあいの場を学年に応じて設定し、主体的に考え、行動し、表現する機会を数多く取り入れていく必要があると考えました。

今までの取組をさらに充実・発展させ、人と人とのかかわりや都祁地区ならではの豊富な体験活動を実施することによって、子どもの心を耕し、感動体験を通して、地域を愛する心や豊かな情操を養いたいです。

2. 取組の概要

【栽培体験学習】自然や地域とのかかわりを深めるために、各学年で栽培体験学習を実施しています。5年生の米作り体験をはじめ、4年生の土づくり・水菜の栽培及びビョウタンづくり、3年生のケナフの栽培を通したはがきや炭づくり、2年生では白菜の植え付け、1年生の焼き芋大会（植え付けから収穫まで）等、地域の農業について体験することができました。

また、観察したことや経験したことを絵や作文にまとめたり、お礼の手紙を書いて手渡したりしました。自分の思いや考えを文章に書くことを通して、表現力を培うことができました。



【学校環境整美作業】80名

近い地域の老人の方々に協力していただき、児童、保護者、地域の老人の方とが一緒になり、学校環境整美作業を進めることができました。



【お話の会】毎週火曜日、業前の時間に地域のボランティアの方々に来ていただき、(低)(中)(高)のローテーションで年間24回、語り聞かせや読み聞かせをしていただきました。静かに集中してしっかりと話を聞いています。

【昔の遊びを教えてもらおう会】子どもたちのおじいさん・おばあさん、地域のお年寄りの方をゲストティーチャーに招き、いろいろな昔の遊びについて教えていただきました。お手玉、こま回し、あやとり、おはじき、かるた、まりつき、はねつき、けん玉を地域のお年寄りの方といっしょに遊び、交流を深めることができました。



【新しい感動と出会いを求めて】保育園児、保護者、地域の方の参加も加わり「豊かな心を育てるために」を演題に、教育講演会（人形劇）を開催しました。本物との出会いの中で、豊かな心が育まれました。また、「県陸上記録会への参加」「好きな本を見つけよう会」など、多くのことと出会う中で、新しい自分との出会いがありました。

3. 成果と課題

『瞳きらきら、心うるおう都祁の子の育成』をテーマに、保護者や地域の方々との連携をもとに、様々な活動に取り組みました。つげの子見守り活動やお話の会、学校環境整美作業、栽培体験学習等、地域と学校とが連携し、計画的に事業を進めることができました。体験学習や地域のひととの交流を通して、地域を愛する心を育み、主体的に考え・表現する児童の育成に向けて、意義ある活動ができました。次年度は、教科学習や学校行事との関連を図りながら、より効果的な活動を取り入れていきたいです。

事業名 **育てよう吐山っ子 はきはき やさしく たくましく**

目 標 **地域に根ざした教育活動の充実**

1. 取組の視点

今年度も、地域の伝統を継承していく大切さを学ぶため、『吐山太鼓踊り』と『日本の音楽に親しもう』を継続しました。また、地域の方に理科の楽しさを教えてもらう『吐山っ子理科教室』や本校の卒業生を招いて、その活躍ぶりを披露していただいた『教育講演会』などの新事業に取り組みました。

2. 取組の概要



- ・事業 『日本の音楽に親しもう』
- ・10月2日（火）箏演奏会と伝統楽器体験
- ・講師 田口眞澄 師範
- ・参加者 児童・職員・地域の方
- ・内容 1 センセイション
2 千鳥の曲
3 吐山小学校校歌
4 箏のよもやま話
5 さよならの夏・愛燦々・戦場のメリークリスマス・情熱大陸
6 お話「ななつぼ」—吐山の民話—

田口先生のお箏を聞いて、またお箏をやってみたくなりました。特に心に残ったのはセンセイションで、これを聞くと心がやわらぐような曲でした。そのほか楽しい楽器がたくさんあって楽しかったです。

6年男子



- ・事業 『吐山っ子理科教室』
- ・10月17日～2月1日 全23回
- ・支援員 草尾良継 氏
- ・内容 5年 流れる水の働き、電磁石等
- ・6年 水溶液の性質、てこの規則性等



- ・事業 『教育講演会 吐山にここに寄席』
- ・1月19日（土）
- ・講師 草尾望氏と神戸元町寄席恋雅亭の皆様
- ・内容 落語の話、お囃子の話、落語

3. 成果と課題

地域の教育力を生かす取組は、今年度も大いに発展し、つながりが深まりました。学校の様子や児童の育ちを気に掛けてくださる方が多くなり、児童は、『はきはき やさしく たくましく』成長しています。

事業名

学び・ふれあい六郷の里

目 標

豊かな自然を生かした活動や地域の人との交流を通してふるさとを愛する豊かな心と強い体を育み、基礎学力の向上を図る教育を充実させる。

1. 取組の視点

本校の子どもたちは、小さい時から少人数で育ち、明るく、素直、温和で言われたことはしっかりできますが、依存的なところが多く、自己を表現することは苦手だという面があります。また、豊かな自然の中にいながら、自然の中で遊んだりすることが少なく、地域の産業や自然環境に対する関心もうすいので、体験活動を通して、心の教育を充実したいと考えました。

そのために、地域の人との協力を得ながら、豊かな心を育むための活動を多く取り入れることにより本事業の活動を進めてきました。

2. 取組の概要

(1) 米作り教室

自然を生かした活動として米作り教室を実施しています。学校近くの田んぼを借りて5年生が田植えから稲刈り、脱穀までを地域の人との協力を



得ながら実施しました。とれた米でおにぎりを作り、全校でおいしくいただきました。この活動を通して生産する苦労や喜び、勤労の大切さを学びました。

(2) ふれあい音楽交流会

豊かな心を育むため音楽交流会を実施してきました。講師の先生から合唱・合奏の指導を受けました。そして六小まつりで保護者や地域の方に聞いてもらいました。また、本年度は奈良市の音楽会にも出場し、たくさんの人の前で、歌う楽しさや友達と心を合わせて演奏するすばらしさを実感しました。

(3) 地域にある施設の訪問・見学

地域にある高齢者福祉施設を訪問して高齢者の方たちと一緒に遊んだり、話を聞いたりしました。この交流を通じて人を思いやる優しい心やまわりの人に感謝することなどを学びました。

また、近くのスーパーに行き、見学や聞き取りをして、仕事の厳しさや苦労、たくさんの人に支えられていることなどを学びました。

(4) 陸上教室

天理大学の陸上部の学生を講師に迎え、夏休みの3日間、幅跳びや走り高跳びを中心に練習にはげみました。自信を持って県の陸上記録会に参加することができました。

3. 成果と課題

子どもたちは、自然体験を通して自然の良さに気づき、生き生きとした活動ができました。今後は子どもたち自身が、地域の産業や自然環境に対して課題意識を持って取り組んでいけるようにしていきたいと考えています。そのためにも、引き続き、体験活動や地域学習に取り組む必要があると思います。